

酒田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂概要

- ▶2022年12月に国がデジタル田園都市国家構想総合戦略を策定し、デジタルの力を活用して地方創生を加速化、深化することで「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指している。
- ▶2022年12月に酒田市総合計画（後期）を策定し、人口減少を始めとする諸課題を解決するための取組みを進めている。

○中長期展望である酒田市人口ビジョンは維持しつつ、酒田市総合計画（後期計画）を**2023年度から2027年度までの5か年の地方版総合戦略（改訂第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略）**として位置づける。

地域ビジョン（目指すべき理想像）

-賑わいも暮らしやすさも共に創る公益のまち酒田-

- ・果敢にチャレンジできる産業交流の盛んな港（湊）まち
- ・五感をもてなす感動のまち
- ・対話を通じた市民参加があふれるまち
- ・誰もがいきいきと暮らし「住みたい」と思えるまち

目標（2027）

①人口減少の抑制

総人口 95,000人程度

②市民所得の向上

市民1人当たりの市民所得 346万円

③住みたいと思う市民の増加

酒田市に住みたいと思う市民の割合 82%以上

基本的方向（国の戦略に対する総合計画の主な対応）

酒田市総合計画後期計画
（政策の体系）

デジタル田園都市国家構想総合戦略
（取組方針）

具体的なめざすまちの姿（章）

- 第1章 未来を担う人材が豊富な酒田
- 第2章 地域経済が活性化し、「働きたい」がかなう酒田
- 第3章 ファンが多く、移住者・定住者・観光客が増加する酒田
- 第4章 暮らしと生きがいを共に創り、お互いが支え合う酒田
- 第5章 地域のつながりと安全・安心にあふれた暮らしやすい酒田
- 第6章 都市機能が強化され、賑わう酒田
- 第7章 健全な行政経営を推進する酒田

デジタルの力を活用した社会課題解決

- ① 地方に仕事をつくる
- ② 人の流れをつくる
- ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 魅力的な地方をつくる

基本的方向対応一覧表

酒田市総合計画（政策の体系）／デジタル田園都市国家構想総合戦略（取組方針）		デジタルの力を活用した社会課題解決			
		① 地方に仕事をつくる	② 人の流れをつくる	③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	④ 魅力的な酒田をつくる
第1章 > 政策1	市民参加があふれ、協働が広がる公益のまち				○
第1章 > 政策2	大学・高校とともにつくる「ひと」と「まち」		○		
第1章 > 政策3	公益の心を持ち明日をひらく子どもたちを育むまち				○
第1章 > 政策4	学びあい、地域とつながる人を育むまち				○
第2章 > 政策1	地域経済を牽引する商工業が元気なまち	○			
第2章 > 政策2	環境と経済の両立により産業競争力が高いまち	○			
第2章 > 政策3	地元でいきいきと働くことができるまち	○			
第2章 > 政策4	夢があり、儲かる農業で豊かなまち	○			
第2章 > 政策5	100年続く森林（もり）を造り、活かすまち	○			
第2章 > 政策6	恵み豊かな水産を活かすまち	○			
第3章 > 政策1	未来を支える担い手が増えるまち		○		
第3章 > 政策2	「おもてなし」があふれ、交流でうおうまち		○		
第3章 > 政策3	「港」発の交流で賑わうまち		○		
第4章 > 政策1	誰もがいきいきと暮らしやすいまち			○	
第4章 > 政策2	未来を担う子どもの笑顔があふれるまち			○	
第4章 > 政策3	健康でいつまでも活躍できるまち				○
第5章 > 政策1	住民と行政の協働による地域運営ができるまち				○
第5章 > 政策2	「全員参加」でつくる美しいまち				○
第5章 > 政策3	地域との連携でつくる安全・安心なまち				○
第5章 > 政策4	「暮らしの足」が維持されるまち				○
第5章 > 政策5	自然環境、歴史、文化、産業で多様性を広げるまち（八幡、松山、平田地域と飛鳥）				○
第6章 > 政策1	高速交通ネットワークを実現し、ひと・もの・情報が集い、魅力と賑わいを創出するまち				○
第6章 > 政策2	将来にわたり快適に利用できる生活インフラが整備されているまち				○
第7章 > 政策1	質の高い行政サービスが持続的に提供されるまち				○